

エスカレーター安全利用啓発プロジェクト
本学学生考案の「思わずつかまりたくなる」手すりデザインが
「アトレ目黒1」で期間限定採用
10月12日より安全効果検証実験を実施

文京学院大学でマーケティングを研究する経営学部新田都志子ゼミナールは、エスカレーターの安全利用を啓発するため、「思わずつかまりたくなる」手すりデザインを考案しました。ゼミ所属学生の働きかけにより、そのデザインが10月12日(木)から31日(火)までJR目黒駅に直結する「アトレ目黒1」で採用されることが決定。採用期間中には利用者にアンケート調査を行うほか、手すりにつかまる人が増えたかなどの利用者の行動変化について観察します。

「エスカレーター安全利用啓発プロジェクト」発足の背景について

近年、エスカレーター事故により救急搬送される人数は増加傾向にあります。東京消防庁(2015)の調べによると、2015年には1,416人が救急搬送されました。事故の原因は転倒が69%、踏段上での事故が72%と最も多く、理由としては歩行による躓きやステップの踏み外しが挙げられます。また、日本エレベーター協会(2016)の調査によると、エスカレーターを歩行することがある人は84%に上りました。ポスターの設置など、安全利用に関するさまざまなキャンペーンが実施されているものの、ステップを歩行する、片側を空ける、手すりにつかまらないなどの行動は常態化されており、エスカレーター関係者からは現状を変えるのは難しいとの声も上がっていました。そのような課題を解決するため、まずは手すりにつかまることから徹底させようと本学の学生が視覚に訴えるデザインをエスカレーターに施し、より効果的に利用者へ届く啓発方法を提案しました。今回の実施にあたり、エスカレーターのフィルム施行を手掛ける株式会社アサイマーキングシステム社から全面協力をいただき、実現に至りました。

活動内容について

啓発プロジェクトを実施するにあたり、本学学生が80以上の「思わずつかまりたくなる」手すりデザインを考案しました。

デザイン考案後には228社の企業や商業施設に採用を働きかけ、6社から前向きな回答をいただきました。その結果、第一弾としてJR目黒駅の商業施設である「アトレ目黒1」のエスカレーターで採用が決定し、利用者に対するアンケート調査及び観察調査を実施する運びとなりました。今回のデザインは、ハロウィン期間にあった色合いで親しみのある動物のイラストや、オノマトペの心理効果を取り入れ、「ぎゅっ」という文字を施しました(写真)。今後は調査結果を元にデザインをブラッシュアップし、手すりをつかむことだけでなく歩行をせず、左右どちらでも乗れるような両側乗りを目指し、残り5社への設置の実現に向けて活動を続ける予定です。



採用実施概要

採用期間：10月12日(木)～31日(火)
場 所：アトレ目黒1(東京都品川区上大崎2-16-9)
アンケート調査期間：10月12日(木)～19日(木)
主 催：文京学院大学経営学部 新田都志子ゼミナール
協 賛：株式会社アサイマーキングシステム
後 援：株式会社アトレ